

# 平成29年度函館市節電チャレンジモニター集計結果

## 1 節電効果（家全体の電気使用量）

モニター期間中の1ヶ月間の電気使用量の合計を前年度と比較したところ、節電効果は、使用量386kWh、料金10,279円、CO2排出量244kg-CO2であった。

1世帯あたりの平均では、使用量26kWh、料金692円、CO2排出量16kg-CO2、削減率9.0%となり、この取組みを1年間継続すると、使用量312kWh、料金8,304円、CO2排出量192kg-CO2の節電効果が期待できる。

	電気使用量実績値		節電効果			平均削減率 (%)
	H29年度 (kWh)	H28年度 (kWh)	使用量 (kWh)	料金 ※1 (円)	CO2排出量 ※2 (kg-CO2)	
	合計 (A)	合計 (B)	差 (B-A)			
第1期	1,618	1,901	283	7,536	179	15.3
第2期	7,526	7,629	103	2,743	65	3.4
合計	9,144	9,530	386	10,279	244	
平均※3	610	635	26	692	16	9.0

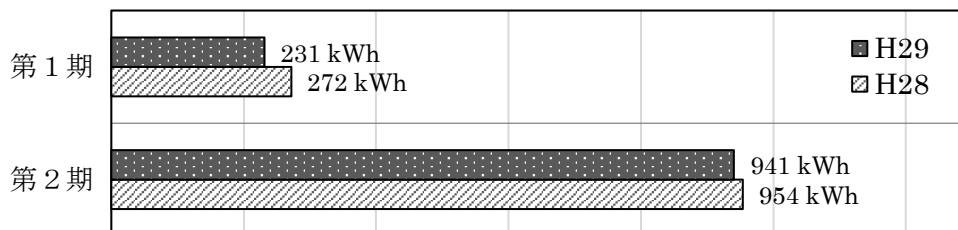
※1：料金の積算は、各モニター期間の北海道電力の従量電灯電力量料金の120kWh・280kWhまでの平均値1kWh=26.63円を用いた。

※2：CO2削減量の積算は、北海道電力の最新(集計時)の実排出係数1kWh=0.632kg-CO2を用いた。

※3：集計対象とした15世帯の平均

※端数処理の関係で合計が一致しないことがある。

## 電気使用量（平均）



## 主な節電行動（参加世帯が実践した主な節電の取組み）

主な節電行動	取組み世帯数		
	第1期	第2期	合計
照明の点灯時間を短くする	4	4	8
テレビを見ていない時は消す	0	5	5
暖房の設定温度を低めにする	0	4	4
待機電力の削減する	3	0	3
省エネタイプの家電(照明等)に交換する	2	0	2
暖房の運転時間を短くする	0	2	2
温水洗浄便座の温度を調整する	1	1	2
冷蔵庫に物を詰め込まない	1	0	1
照明の明るさ調節する	1	0	1
テレビを見る時間を減らす	1	0	1
炊飯をまとめてする。	1	0	1
電気ポットの保温を使用しない	0	1	1
電化製品の設定を見直す	0	1	1

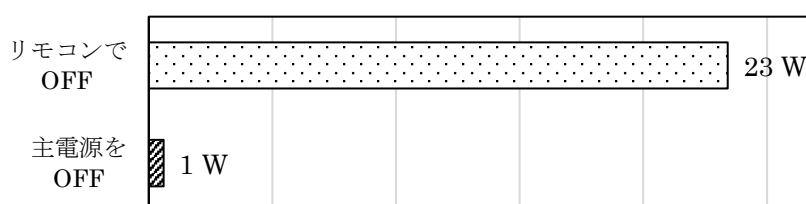
## 2 主な家電製品の消費電力

節電の参考とするため、主な家電製品の待機時と使用時の消費電力を、家電製品型電力測定器で測定してもらったところ、測定結果は次のとおりとなった。

### 待機時の電力（平均）

テレビの待機電力は、リモコンでOFFにするより主電源をOFFにした方が、平均で約22W消費電力が少ない結果となり、外出時や就寝時等の長時間使用しない時間帯は、主電源をOFFにすることで節電効果が期待できる。ただし、消費電力がほぼ同じ結果となる場合もあり、機種によっては違いが生じない場合もある。

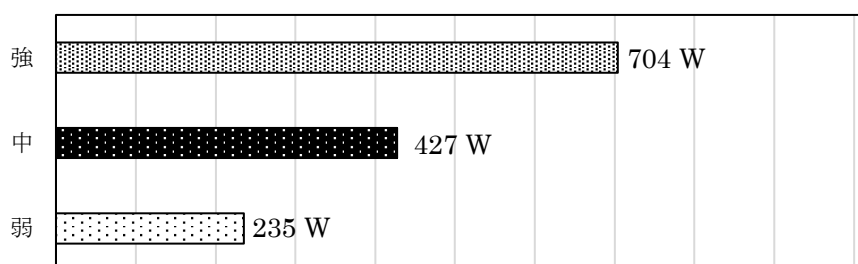
取組品目	取組台数	リモコンでOFF (W)	主電源をOFF (W)	待機電力の差 (W)
テレビ	15	23	1	22



### 使用時の電力（平均）

掃除機の使用時の電力は、強さによって消費電力が大きく異なる結果となり、必要に応じて強さを調節することで、節電効果が期待できる。

取組品目	取組台数	強さ：強 (W)	強さ：中 (W)	強さ：弱 (W)
掃除機	12	704	427	235



## 3 意識して取り組んだ省エネ行動や感想

○テレビは意識して見たい番組のみ見るように心がけました。

○お米を炊くのに、土鍋でたいてみるなどしてみました。

○目で見えていくらお金がかかっているのかわかるので節約の意欲がでました。

○テレビの無駄見をさけたかったが、家族の協力が中々難しい。

- 4月から新居で、コレモ（ガスマイホーム発電）を設置し、電力モニターもよく見る生活をしていた。夏休みで子供たちが在宅のため、電気量が少し高い気がするが、暑くなかったため、例年よりは安いかなと思う。
- コンセントを抜くほかに冷蔵庫の位置5cmほど前に出してみた。
- コレモは夏にお風呂をわかすときのみ発電のため、そのときにアイロンや洗濯をするよう心がけた。
- 家の中にある家電の待機電力を調べたところ、コンセントを差しっぱなしでも0kWhのもの、差しているだけなのに電力のかかっているものが分り、むやみにコンセントを抜く必要が無いと知りました。実測に基づいて行動ができるようになりました。子供のゲーム機に関して節電できる方法を考え、コンセント待機電力量のラベルを貼って子供でもタップスイッチを切れるようにしました。
- 照明、テレビの節電に心がけて、習慣付けることができた。
- 家族の協力が大切と感じた。
- スイッチ付タップを使用して、使用していない時は切る。
- ワットモニターは数値が見にくい。計測に便利な所にコンセントはない。
- 録画予約していない夜間は、TVの主電源を切る。その他の器具も使い終わった都度コンセントから抜く。
- 普段からテレビは主電源で切るなど気をつけていましたが、数字が目で見えるので、使わない時はコンセントを抜くなど、結構がんばったと思うのですが、2人家族なのに、やはり全然電気使用量が減らないのはなぜなのか、何にかかっているのか、相変わらずわかりませんでした。
- 設定温度を低めにしても年末年始家にいることが多いため暖房の使用時間が長くなったと思う。
- 冬の節電は難しいのかなと思った。
- 冬場は電気量金が20,000円超えになるので少しでも減らしたいとヒーター類はなるべく使わないと思いましたが今年の冬の寒さであまり効果はなかった
- オール電化の電気代が驚くほど高くなり、少しでも節電になればと思い応募しました。普段見えない電気量が数字でわかり、ためになりました。ありがとうございました。
- 照明器具の小まめなON・OFFや照度調整の成果を検針票の数字で具体的に知ることにより日頃意識したことがなかった無駄に気付く良い機会となった。

○今年は寒い日が、続いてなかなか暖房を節電する事が出来なかったように思います。ですがこれからも節電は続けようと思います。

○テレビ主電源OFFを毎日続けた。

○夜更かしせず早め消灯

○テレビは見ない時は消すことを徹底しました。節電の見える化大切さを感じました。

○プラズマテレビの消費電力が大きいことに気付いた。テレビの他20年使っている冷蔵庫の買い替えも検討したい。

## 【モニター実施概要】

- 1 モニター期間      第1期： 7月1日（土）～8月31日（木）  
                          第2期： 12月1日（金）～1月31日（水）
- 2 モニター実施世帯数      17世帯（第1期9世帯，第2期8世帯）
- 3 モニター内容  
    分電盤設置型（家全体）と家電製品型（家電製品毎）の2種類の電力測定器を利用して、家庭の電気使用量を「見える化」しながら節電に取り組んでもらい、モニター終了後にモニター期間の各月の電気使用量（電力会社の伝票で確認）および主な家電製品（テレビ，掃除機等）の電気使用量の測定結果等を報告してもらった。
- 4 集計方法  
    各月の電気使用量については、前年度同月の使用量と比較を行うため、当該年および前年度の対象月電気使用量を確認できた15世帯を集計対象とした。